



# はんえい

編集発行 ■ 京都商工会議所中小企業経営相談センター 〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル TEL 075-212-6467

## 大学との知恵の連携で 業界に息吹を吹き込む

大学で培われてきた知的資源は、科学的な技術や研究成果だけではない。特に、多様な大学が集積する京都には、新たな付加価値の創出につながる豊かな発想や知恵、マンパワーがたくさん埋もれている。大学や学生との協働を選択肢に入れることによって、企業の経営革新や業界・組合の活性化のチャンスは広がるだろう。

今回は、産学連携で新たな魅力を発信する業界・組合の取り組みを紹介する。



## ライフスタイルに根差した提案で土産物の可能性を広げる 京都工芸土産品協同組合

**DATA** 組合名 京都工芸土産品協同組合  
代表者 木村 安輝 TEL 075-541-7321  
所在地 京都市東山区清水一丁目263  
（榎木村桜土堂内）

しかし、近年は中国などで低コストの土産品が作られるようになり、「京都の優れた伝統産品が埋もれてしまっている」と理事長の木村安輝さん。「もう一度、モノづくりの原点に立ち返って、メイド・イン・京都の魅力を発信しよう!」と、昨年度、京都精華大学デザイン学部の佐藤敬二教授の協力のもと、学生の豊かな発想を活かした商品開発に取り組んだ。「井の中の蛙になつてはいけない。私たち自身が、学生から刺激をもらおうと考えた」と話す。今回、学生にまず店舗や工房を見学してもらい、モノづくりのイメージを膨らませてもらった。初めて伝統工芸の世界に触れ、目を輝かせて熱心に質問する学生も多かったという。

### モノづくりの原点に返り 京都の伝統産品の魅力を発信

同組合は、人形や紙、西陣織、象嵌などを製造卸する異業種で構成される、全国でもユニークな団体。今から二十年以上前、(社)京都デザイン協会と連携して、新しい技術やデザインを取り入れたコンセプト商品を開発するなど、外部の知恵に積極的に目を向けてきた。



京都には芸術系・デザイン系の大学が多く、新しい知恵やアイデアを生み出す土壌が整っている。「これからも大学や異業種との連携に取り組み、新しい風を吹き込んでいきたい」。先人たちが培ってきた進取の気概は、今も脈々と受け継がれている。



若い感性に刺激を受け 業界全体の活性化に期待

今年二月、組合の五十周年記念に合わせて、前期・後期十六名の学生によるコンセプト作品を京都市勧業館みやこめっせで展示した。音楽プレーヤのコードを束ねるコードキーパーや、ゲーム機を持ち運ぶファッションバッグ、携帯型のどこでも使えるお香など、「ライフスタイルに根差した発想に思わずはっとさせられた」と、専務理事の田中良明さんは振り返る。そのほか「結婚式の招待状に象嵌のアクセサリを添えたら喜んでもらえるのではないか」というアイテムの使い方に関する提案もあった。来場者から「こんな商品がほしい」という声が寄せられるなど、エンドユーザーのニーズに耳を傾ける機会にもなったという。ブラッシュアップすれば商品化できそうなプランもいくつか出てきているそうで、将来は独自の付加価値をプラスした伝統産品の開発で組合全体の活性化を狙う。

伝統行事に込められた“心”を京菓子の味や形に託して表現

# 京菓子協同組合

DATA 組合名 京菓子協同組合  
代表者 下邑 隆 TEL 075-762-2011  
所在地 京都市左京区岡崎成勝寺町  
みやこめっせYOオフィス内  
U R L http://www.kyogashi.or.jp/

合青年部副部長の高家啓太さん。  
市場では派手にデコレーションされたスイーツがあふれているが、同組合ではあえてシンプルさにこだわった。本来、京菓子の魅力というのは、ただ味わうだけでなく、菓銘や形、色を見て、季節の移ろいを感じ、作り手の思いを想像することにあるという。プロジェクトを通して、京菓子が持つ意味や文化を伝えることで、今まで「高級品」「華やか」というイメージを持っていた学生たちの意識が変わっていったという。

学生との連携で京菓子の新たな価値に気づく



今回の開発した商品は、「心(上用まんじゅう)」「晴(うしろ)」「松(きんとん)」の三種類。上用まんじゅうは、生地をほんのりと桃色に染め、感謝の気持ちを伝える照れくささを表した。また、うしろは重ね目をぼかして、晴れの日の振袖をイメージ。きんとんは、白と緑という京菓子の伝統的な色使いで、松の内最後の二月十五日の大切さを強調した。昨年末、インターネットで注文を受け付けたところ、全国各地から問い合わせが舞い込むなど反響を呼んだという。「パレンタインデーにチョコレートを配るように、成人の日に京菓子を贈る習慣を根づかせたい」と期待を込める。

顧客の関心を広げ習慣行事としての定着をめざす

同組合では二年前にも、京都造形芸術大学や専門学校との連携で、シソやカボチャなどの粉末を加えた新感覚の京菓子「ベシタ棒」を開発している。ヘルシーで見た目もカラフル。「いろいろな人とのつながりを色で表現した」と高家さん。これまで京菓子に関心があった人の目を引きつけることができたといい。伝統の世界に身を置きながら、若い感性を積極的に取り入れて、京菓子の新たな可能性を探っている。次は、どんなメニューで私たちが楽しませてくれるだろう。



産学民の三位一体で焼物のまちの賑わいを創出

# 清水焼団地協同組合

DATA 組合名 清水焼団地協同組合  
代表者 小山 好弘 TEL 075-581-6188  
所在地 京都市山科区川田清水焼団地町10-2  
U R L http://www.kiyomizuyaki.org/

数年前、京都橋大学現代ビジネス学部の学生らの参加を得て、地域を灯りで彩る「陶灯路」のプロジェクトを発足させた。京焼・清水焼の器に切りガラスを浮かべ、赤色キャンドルに火を灯すというもので、ゆらゆらと揺れるキャンドルの炎が暗闇に映え、幻想的な雰囲気を出す。当初は、陶器まつりのイベントの一部だったが、地元や行政などが関心を示し、山科地域が一体となった大きな取り組みへと広がっていった。

灯りとのコラボで清水焼の新たな用途を開拓



伝統産業の世界はややもすれば受け身になりがちだが、「若い人たちのマンパワーを活用することで、私たちの取り組みの幅が大きく広がった」と白谷さんは笑顔を見せる。イベント終了後も、地域の寺院で陶灯路が行われるなど、産学連携発のプロジェクトはまちの中に溶け込みつつあるようだ。山科では様々な人、団体が地域を盛り上げようと活動している。「今後も、多様な分野で連携を深めながら、京焼・清水焼の可能性を共に追求していきたい」と、同組合の取り組みは続く。

伝統産業の幅を広げる若者のマンパワーに期待



昨年十月、第三回目となる「駅前陶灯路」が開催された。約二千基の陶灯がJR山科駅前や地元商店街のメインストリートに艶やかに彩ったほか、十四名の陶芸作家が特別に作ったオブジェが展示されるなど、二千名を超える来場者で賑わったという。学生たちはプロジェクトの企画段階から参加し、アイデアやプランの提案、当日の会場準備、キャンドルの点灯などに積極的にかかわった。



# 京都府仏具協同組合

組合名 京都府仏具協同組合  
 代表者 若林 卯兵衛 TEL 075-341-2426  
 所在地 京都市下西区西洞院通七条下る  
 東塩小路町607-10 サンプル京都ビル3階東側A号  
 U R L http://www.kyobutsugu.com/

マンガを描くにあたって、学生には京仏壇の主な製造工程をすべて見学してもらった。「自分が感動したこと、驚いたことを描いてほしい」とお願いした。例えば、木地(木材)で仏壇本体を組み立てる(工程では、設計図を使わず「杖」という棒ですべての仏壇の寸法を測る。また、蝋色(漆塗)の表面を平らに研ぐ)工程では、最後に職人の手を使って磨き上げる。この業界の目で見れば当たり前作業も、若い学生たちには新鮮に受け止められたという。

匠の技術を体験し  
 感動と驚きをイラストに込める



京仏壇は、職人が一つひとつ手作業を行い、何十という工程を経て作り出される伝統的工芸品。「大変な手間ひまがかかっているが、お客さまにあまり認知されていない」と話すのは理事長の若林卯兵衛さん。京仏壇がどのようにして作られているのか、分かりやすく伝える方法はないだろうか…。京都はマンガ文化の発祥地。「私自身もマンガが大好き。難しい本を作るより、イラストのほうが若い人に受け入れてもらいやすい」。今から四年ほど前、京都精華大学芸術学部マンガ学科(現マンガ学部)の協力を得て、京仏壇の魅力を伝える産学コラボレーションが始まった。

マンガを描くにあたって、学生には京仏壇の主な製造工程をすべて見学してもらった。「自分が感動したこと、驚いたことを描いてほしい」とお願いした。例えば、木地(木材)で仏壇本体を組み立てる(工程では、設計図を使わず「杖」という棒ですべての仏壇の寸法を測る。また、蝋色(漆塗)の表面を平らに研ぐ)工程では、最後に職人の手を使って磨き上げる。この業界の目で見れば当たり前作業も、若い学生たちには新鮮に受け止められたという。

伝統工芸への理解を深め  
 新たな需要発掘と後継者育成へ

こうして完成したのが「永遠のたくみ」京仏壇ができるまで」という小冊子である。最初はやんちゃだった男の子が、京仏壇を作る職人たちの技術や苦労に触れ、やがて仏壇に向かって自然に手を合わせるようになっていくストーリー。愛らしいイラストで、登場人物の表情や作業風景をいきいきと表現した。今回、一万冊を用意して大学や専門学校、地域の図書館などに配布したところ、親しみやすいと好評だったという。仏壇というのは誰かが亡くなつてから用意するものではない。「仏様を祀り、家族の心の拠り所となる存在であることを知ってほしい」と若林さんは強調する。



同組合では、これまでも京都造形芸術大学などと連携して、職人の技術を後世に伝えるデジタルアーカイブの取り組みを行ってきた。近年、時代ニーズの変化とともに、家具調の仏壇なども市場で見られるようになったが、「京仏壇の歴史、技術、そして意味を伝えていくのが、私たちの役目」と意欲を示す。

## HAN-EI EYES

### 互いに刺激を受け合う 関係を構築

最近でこそ、産学連携という言葉が市民権を得るようになったが、京都では古くから当たり前に行われてきたことだ。最近では、理系分野だけでなく、デザインやマーケティング、まちづくりなどの分野においても、大学の知恵を積極的に利用しようという動きが活発になっている。

今回の取材では、主に伝統工芸にかかわる組合・団体の試みを取り上げた。厳しい社会状況を反映して、会員数の減少や事業規模の縮小など、組合を取り巻く環境は必ずしも良好ではない。その一方で、外部資源を掘り起こし、業界全体の活性化につなげようという取り組みが積極的に行われていることを知った。大学の知恵やノウハウだけでなく、学生たちのマンパワー、バイタリティ、感性に触れることで、「内向きだった視点を外側へ広げる良いきっかけになった」と組合の担当者も口を揃える。

結果だけを見れば、明日にでもすぐ大学や学生との連携で成果を生み出せると思うかもしれない。しかし、実際に取材してみると、その道のりは一朝一夕の容易なものではないことが分かる。

例えば、京都工芸土産品協同組合や京菓子協同組合では新たなコンセプト商品を開発するために、組合企業と学生が共に知恵を絞りながら何ヶ月もかけてプランを形にしていた。また、清水焼団地協同組合では、学生たちのアイデアをもとに、陶芸作家が本業の合間を縫ってイベント用の作品を新たに創作した。京都府仏具協同組合では、門外に出ることのない職人技術を学生たちに公開し、その感動をイラストに表現してもらった…。手間ひまがかかるかもしれない。これまでの慣習を破ることになるかもしれない。だが、「大学に任せておけば、何とかなる」という二方向的な依存の関係では、産学連携はうまくいかないだろう。組合と大学が培ってきた資源を互いに出し合い、両者が刺激を受け合う、いわゆるWin-Winの関係構築していくことが大切だろうと思う。

機会があるたび、「京都は大学のまち」と紹介される。だが、大学がそこに「ある」だけでは価値を生まない。そのまちで共存する大学や企業、組合、住民、行政が連携し協働することで、新たな活力が紡ぎ出されることを期待したい。

洛央支部

京都府電機商業組合

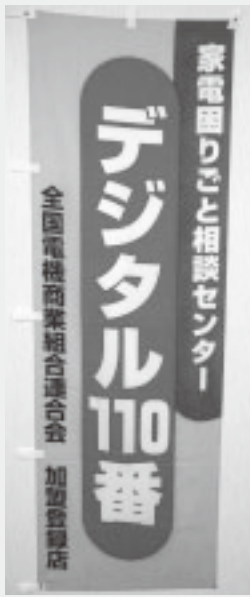
「もう地デジ化は  
お済みですか?」

京都府電機商業組合（牧野伸彦理事長）では、本年七月のアナログテレビ放送の停波と地上デジタルテレビ放送への完全移行に向けて、組合員で構成する「デジタル一〇〇番 家電お困りごと相談センター登録店」（府内約三百店）にて地デジに関する相談に対応している。

同組合では、総務省「テレビ受信者支援センター（「デジタルサポ」）」の要請を受けて、平成二十一年の夏から「地デジサポーター戸別訪問事業」を実施。本年一月末までに、各店の顧客など京都府内の五万三千件の訪問活動を行い、地デジ未対応世帯への適切なアドバイスやサポートを行ってきた。

京都では、生駒山から発信される地デジの電波に加えて、昨年七月には比叡山の中継局からも電波が発信され、難視地域の解消と、現在のアンテナ設備で地デジが視聴できる環境整備が進んでいる。しかしながら、盆地という京都の地形から、ビル陰や山陰などで難視の地域がまだまだ存在する状況となっている。

同組合では、今後も「地デジ化百パーセント」の促進を目標に、親切・丁寧な相談対応を行う。



地デジに関するご相談は左記までご連絡ください。

総務省 地デジコールセンター デジタルサポ京都

(075-333-0303)(0)

または お近くの「デジタル110番登録店」電気店（デジタル110番のほりのお店）へ

本部

合同会社KICS

銀聯カードのイベントを実施  
中国人観光客を呼び込む

合同会社KICS（代表社員 四条繁栄 会商店街振興組合 職務執行者 堀部素弘理事長）では、二月一日（火）～二十八日（月）の間、中国のデビットカード「銀聯カード」で買い物をすると抽選で代金が無料になるイベントを行った。同イベントは、中国の旧正月「春節」に合わせて来日する中国人観光客を呼び込む全国初の試みで、KICSに加盟する市内商店、百貨店、大型量販店など約千三百四十店が参加。イベント期間中、銀聯カードで支払った際に打ち出される伝票番号の下二桁が「00」「66」「88」になれば、二十万円を上限に抽選で百人に三人が無料になるもの。



抽選イベントに際し、二月一日（火）には「銀聯カード 京都イベント 開始記念式典」が四条センター前で行われ、中国駐大阪総領事館の孔多孜玉素甫副総領事、観光庁の溝畑宏長官や京都府知事、京都市長、京都商工会議所会頭などを招いた記念式典が行われた。主催者挨拶を行ったKICSの堀部素弘代表は「オール京都で中国人観光客を歓迎し、地域経済の活性化に寄与していきたい」と抱負を語った。



中国駐大阪総領事館の孔多孜玉素甫副総領事、観光庁の溝畑宏長官や京都府知事、京都市長、京都商工会議所会頭などを招いた記念式典が行われた。主催者挨拶を行ったKICSの堀部素弘代表は「オール京都で中国人観光客を歓迎し、地域経済の活性化に寄与していきたい」と抱負を語った。

洛南支部

桃山語り部の道「桜まつり」実行委員会

伏見の水辺に桜舞う  
第五回桃山語り部の道桜まつり

春爛漫の季節を迎え、桃山語り部の道「桜まつり」実行委員会は四月三日（日）、「第五回桜まつり」を宇治川派流河川沿いで開催する。

「桜まつり」は京都桃山ライオンズクラブが宇治川派流の桜の植樹を記念して平成十九年より開催し、伏見桃山地域の春の風物詩となっている。今回より同クラブのほか伏見観光協会、「伏見桃山がんばる七商店街」、伏見夢工房、伏見納税協会青年部が実行委員会を組織し、装いも新たに開催する。

伏見桃山地域では、三月十九日（土）の「第五回日本酒まつり」（伏見酒造組合、伏見夢工房）、四月一日（金）より「十石舟」の定期運行（伏見夢工房）、そして四月三日（日）の「桜まつり」と春を彩る行事が目白押し。同実行委員会では、「広く伏見内外の人々に桜と水辺の風情を楽しんでほしい」と呼びかけている。

第五回桃山語り部の道「桜まつり」開催概要

日時：四月三日（日） 午前十時～午後四時

会場：宇治川派流（京橋）であい橋間河川沿い

内容：●地元小学生演奏会／午前十時～

●水辺の楽市・楽座（賑わい市）／午前十時～午後四時

●リバーサイドライブ／午前十一時～午後四時

●十石舟夜桜ライトアップ運行

●夜間ライトアップ運行／四月一日（金）～三日（日）

●昼の定期運行／四月一日（金）～十一月三十日（水）

特典：先着二百名！伏見の清酒振舞酒

先着二百名！桜まつり利用金券（千円）をお買い上げの方に市指定家庭ゴミ袋

（二袋）をプレゼント

お問合せ

伏見観光協会連絡窓口

075-622-8750

洛西支部

京都府菓子工業組合

「安倍清明」をテーマに  
新年講演会を開催

京都府菓子工業組合（北岡恵夫理事長）では一月十四日（金）、本所との共催で「都の安心を願う一千年・安倍清明を語る」をテーマに、清明神社宮司山口琢也氏を講師に招いて講演会を開催した。

日本の陰陽道の祖・安倍清明公をまつる清明神社は、全国から多くの崇敬者を集めるとともに、京都の有名観光スポットのひとつにも数えられている。平成十八年に同神社の宮司に就任した山口氏は、時間、質、天文学に関わりのある陰陽道の役割や清明公の姿を広く正しく伝え、またその考証と魅力の発掘・探求に日夜取り組んでいる。

「京菓子」の中に観光産業としての新たな視点を得ることを目的に開催した講演会では、山口氏より、宮司として陰陽師や清明公のブームを目の当たりにしたこれまでの経験をもとに「参拝客が清明公のどこに魅力を感じているのか」について教示を受けた。



また、山口氏は「陰陽道は、陰陽や五行（木・火・土・金・水）のバランスで理想の社会を目指す考え方であり、天文学や暦と深い関係がある」「十干・十二支など、実は京菓子にもなじみ深い」と語り、組合員は京菓子が持つ季節感や、安心と平安をもたず和の魅力を再認識するなど、菓子文化について理解を深めた。

洛北支部

北大路商店街振興組合

懐かしい「昭和の北大路」  
写真をホームページに掲載

地下鉄北大路駅前立地する北大路商店街振興組合（福村毅之理事長）では、このほどリニューアルした商店街ホームページに「昭和の北大路」の写真を掲載している。

掲載写真は昭和初期から戦中戦後、高度経済成長期を経て昭和五十年頃までの計四十枚で、商店街の組合員らから提供を受けたもの。北大路通烏丸交差点界隈の店舗の様子や街並みを中心として、大八車を引く牛や市電、現在の北大路駅・バスターミナルの前身である烏丸車庫、豪雨で冠水した道路、賀茂川での小芋洗い、出征式や防空演習、神社祭礼、ファッションなど、撮影当時の時代背景や地域事情を色濃く映している。



1940年（昭和20年）代 北大路通烏丸交差点南東に大八車を引く牛が見えます。道路中央には市電停留所があります。【写真提供 西村写真店】

同商店街では、お得意様調査の結果、五十歳以上の来街者が過半数を占めていることが判明したため、一層の賑わいづくりに向けて世代を問わず広く興味を持ってもらおうと、商店街マップの充実とともに、今回、青年部主導でホームページへの写真掲載を行った。

福村理事長は「数々の写真を通じて年配者には若き時代を振り返って懐かしさを感じてほしい。また若者には激動の昭和から平成の現代に至るまで脈々と続いてきたこの街を知り、ぜひ足を運んでほしい」と語っている。

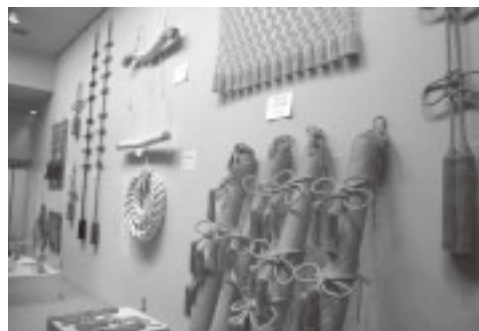
北大路商店街ホームページ  
<http://www.kios.gr.jp/kitakitaaji/>

洛央支部

京都府燃紐工業協同組合

「京房ひも展」を開催  
日本の伝統文化を支える美と技

京都府燃紐工業協同組合（坂田憲男理事長）では、(財)京都伝統産業交流センターとの主催による企画展「京房ひも展―脇役が支える日本の伝統と文化―」を一月四日（火）〜二月六日（日）の間、みやこめっせ地下一階の「伝統産業ふれあい館」にて開催した。



京房ひも・燃ひもは、貴族文化を彩る華麗な房飾りや武士文化の武具甲冑、刀の下げ緒をはじめ、茶道具、仏具などに古くから用いられ発展してきた。その後の町人文化の中でも日用品として愛用され、現在も神具、仏具、茶道、伝統芸能をはじめ、日常生活でも幅広く利用されている。

今回の企画展では、京房ひも作品六十三点を無料で展示。見学者は日本の伝統文化・芸能・茶道・能楽・歌舞伎・相撲など日常の暮らしのなかに、脇役として、華やかさや荘厳さ、そして潤いを演出する京都ならではの伝統工芸の美と技を鑑賞した。また、京房ひもの実演として携帯電話用のストラップを製作し、見学者に配布したところ、老若男女、幅広い世代が行列をつくるほどの人気を呼んだ。

同組合では、三月二十日（月・祝）に開催された「伝統産業の日inみやこめっせ ふれあい館まつり」でも京房ひもの技の体験教室を実施するなど、伝統文化を支える技法の継承発展と魅力の発信に積極的に取り組んでいる。

## 地場産業の知恵や業界の成功事例・工夫を紹介

本所支部では、事業者向けに各支部主催の講演会やセミナーを開催した。

洛南支部では、二月二十一日(金)、「弱さを強さに！」伏見の酒づくりに見る地場産業の知恵」をテーマに新春講演会を開催。



洛南支部新春講演会(1月21日)

アップの取り組みや、外食産業の現状などについて講演した。全国の飲食店向けにサービス展開する同社ならではの視点から、外食の機会を創出するアイデアや「やっていて楽しい販促」など事例を交えて紹介した。

洛北支部では、二月十四日(木)、中小企業診断士の古川文彦氏を講師に招き、「顧客との関係づくり」お金をかけない商売の工夫」セミナーを開催。顧客との関係を基礎から見直すこ

とで売上や利益を向上させる手法とその効果について学んだ。古川氏は、「おもてなしの心」をキーワードに、顧客や従業員、会社との関係を良好に高めるプロセスについて実演を交えて分かりやすく解説して熱心な質疑応答も行なわれるなど有意義なセミナーとなった。



洛北支部セミナー(2月24日)

## 中小企業にこそ有効な「スモールM&A」

本所では、二月十八日(金)、後継者不在の中小企業の事業承継手法として注目される「スモールM&A」を紹介するセミナーを開催し、企業経営者ら四十五名が参加した。

講師の(株)オンデック代表取締役久保良介氏は、個人店舗や年商数千万円規模の企業の譲渡仲介を手掛けた経験から、「小さな企業でも、技術や販路などの明確な強みや優秀な人材、健全な決算書などは高く評価される」と説明。また、事業承継にとどまらず、経営基盤の強化も見据えた「スモールM&A」の有効性を解説した。



明した。社会学的アプローチから明らかになる地場産業の進取的な取り組みに、参加者は熱心に耳を傾けた。

洛央支部では、二月九日(水)に飲食店経営力向上セミナー「繁盛店は今、何をしているのか」を開催し、講師の(株)ぐるなび京都営業所エリアマネージャー猪瀬健治氏が、繁盛店が行っている売上



洛央支部セミナー(2月9日)

京都・知恵ビジネス大交流会二〇二一

## 知恵ビジネス認定プランを表彰

知恵ビジネス育成事業の一年間を締めくくる「京都・知恵ビジネス大交流会二〇二一」を二月二十五日(金)に開催した。記念講演では、日本ドロッパー学会理事・代表代行の藤島秀記氏が自身の経験と事例を交えて、ドロッパー経営の本質である顧客を中心としたビジネスのあり方について語った。また、「第二回知恵ビジネスプランコンテスト」の認定六社への認定証授与や、認定プランの発表を行い、会場は知恵ビジネスを目指す三百人もの来場者で賑わった。

### 【第2回知恵ビジネスプランコンテスト認定プラン】

- フッ素DLC超高密度炭素素材の開発・販売  
(株)大木工藝 代表取締役 大木武彦氏
- 「京の新野菜」の発信で豊かな食生活への提案  
(有)篠ファーム 取締役 高田実氏
- 資源循環型土「エコクレイ」の開発・販売  
東和スポーツ施設(株) 代表取締役 川谷真輝氏
- 着圧機能付き高機能トリアスロンウェットスーツの開発  
(有)ナチュラルエナジー 代表取締役 長田達也氏
- 家具クリニックネットワーク  
フィールドアロー(株) 代表取締役 矢野雅也氏
- 「マクラメ」技法で生み出すユニット型光ファイバー照明  
(株)フィルノット 代表取締役 本田壽子氏

「知恵の経営」推進セミナー(実践編②)

## 「知恵の経営」報告書の作成に取りかかる

会社の無形の強みの活用を図る「知恵の経営」報告書の作成を目指し、一月十七日(月)から三回にわたり少人数制セミナーを開催し、七社の経営者らが参加した。

セミナーでは、昨年、同報告書を作成し、京都府の認証を受けた(株)澤田商店から作成の狙いや成果について紹介。参加企業は本所経営支援員や中小企業診断士のサポートのもと、知恵やノウハウの見える化、魅せる化に取り組んだ。今後、専門家派遣制度を活用し、報告書の完成と認証取得を目指す。



# 小陶苑

## 焼物に嵯峨野の風情を添えて提供

二尊院のほど近くに暖簾を構える信楽焼の専門店。「土の温かみや素朴感が信楽焼の魅力」と話すのは店主の長谷川章一さん。焼物の持ち味を活かしながら、現代のライフスタイルに応じた作品を数多く提供している。カフェの器やインテリアとしても使えるお洒落なフリーカップ、目が覚めるようなトルコブルーが美しい食器や花入れなど、土の配合や焼き方を工夫することで、同じものが二つとない独特の風合いが出来上がるといふ。「伝統を守るだけでなく、時代に合わせて焼物も進化すべき」。昔からのリピーターも多く、まずはこの店を訪れてから嵯峨野を巡るといふ観光客も多い。



長谷川章一さん



春と秋のオンシーズンは、草花や紅葉など季節感あふれる庭に飾る毛氈を敷き、オリジナルの器で抹茶や和菓子を楽しんでもらうサービスを行っている。古歌に詠まれた小倉山を借景に、昔ながらの静かな嵯峨野の雰囲気堪能できると好評だとか。「信楽焼の良さは使ってもらうことで分かります」と長谷川さん。抹茶を飲んだついでに、商品を買っていく顧客も少なくないという。従来の土産物店とは異なる、新たな付加価値を提供することで、その存在意義を高めているようだ。観光客にモノを売るだけでは、やがて飽きられてしまう。「歴史的な土地が培ってきた魅力を発信していきたい」と長谷川さん。その笑顔が嵯峨野の風景に溶け込んでいく。



### DATA

嵯峨野が観光地として注目される以前の昭和38年に創業。狸の置物が出迎えてくれる信楽焼専門店。新しい感性を取り入れた創作陶器の数々は若者層にも人気がある。海外の新聞や旅行者向けガイドブックで紹介されるなど、外国人観光客の利用も多い。 京都市右京区嵯峨二尊院門前長神町 15-2 ☎075-872-2134

## 専門相談のご案内 相談無料

小規模事業者の皆様のご経営上のご相談に、各専門家が適切なアドバイスをします。お気軽にご利用ください。

**秘密厳守**

- 国際ビジネス** 中国をはじめ海外ビジネス展開におけるアドバイス
- IT** 事業経営に関わるIT活用の相談、助言など
- 店舗デザイン** 外装デザイン、店内スペース、商品ディスプレイ、照明、色彩その他、電器店の活字アンの相談、助言など
- 雇用・労務管理** 雇用に関する助成金制度の紹介をはじめ、労務管理全般に関する相談、助言など
- 不動産諸税・資産運用** 不動産及び資産の相続と贈与・資産運用など、実勢価格や公的評価を参考に税制面を踏まえながら相談、助言など
- 税務** 所得税・事業所得、譲渡所得など、法人税、消費税、事業承継・相続税、贈与税、事業税、固定資産税、確定申告の仕方など相談、助言
- 経営** 財務分析、生産管理、マーケティングなどの諸分野に関する相談、助言など
- 法律** 契約上や取引上のトラブル（金銭回収、契約違反、金銭貸借、不動産売買など）、その他、相続、保証人などの法律問題

相談分野	時間	相談日	相談場所
法律	午後1時～午後4時 受付は午後3時30分まで	毎週(火)	洛央支部
経営	午後1時～午後4時 受付は午後3時30分まで	毎週(水)	洛央支部
税務	午後1時～午後5時 受付は午後4時30分まで (事前予約可)	第2・4(木)	洛央支部
		第1・3(月)	洛北支部
		第2・4(火)	洛西支部
		第2・4(水)	洛南支部
雇用・労務管理	午後1時～午後5時 受付は午後4時30分まで	第1・2・3・4(金)	洛央支部
不動産諸税 資産運用	午後1時～午後5時 受付は午後4時30分まで	第1・3(木)	洛央支部
店舗デザイン	(事前予約制)		洛央支部
IT	(事前予約制)		洛央支部
国際ビジネス	(事前予約制)		産業振興部 ☎075-212-6450

専門相談一覧は平成23年3月末までの内容です。(平成23年4月からは一部を変更を予定しています)

お問合わせ 京都商工会議所 洛央支部 ☎075-212-6460 洛南支部 ☎075-611-7085  
中小企業経営相談センター 洛北支部 ☎075-701-0349 洛西支部 ☎075-314-8771

## 京都の中小企業のみなさん!

地元京都の弁護士が  
面談にてご相談に応じます。



**初回  
相談料  
無料**

契約・取引、債権回収・保全、会社整理・再生等

キャンペーン期間：  
平成22年10月1日～平成23年9月30日まで

ひまわり  
**中小企業のための  
ほっとダイヤル**  
ひまわりほっとダイヤル 検索

中小企業法律  
支援センター  
京都弁護士会  
京都弁護士会 検索  
http://www.kyotoben.or.jp/  
tyuusyoukigyou.cfm

**☎ 0570-001-240**  
075-231-1414でも受け付けます  
受付時間 ●月～金(祝日を除く)午前10時～12時、午後1時～4時  
※通話料がかかります。※PHS及び一部のIP電話からはつながりません。



# ニュー京商ビジョン セカンドステージにおける がんばる中小企業支援

京都商工会議所では、小規模・中小企業の皆さんの一番身近な経営相談窓口である市内4支部の移転・路面化を昨年完了。利便性が向上し、さらに親しみやすくパワーアップして地域密着の「顔の見える」経営支援を行っています。

そして、セカンドステージでは、京都経済を支える小規模・中小企業の皆さんが、がんばって安定した経営基盤を築き、成長するための支援を強化します。支援員の能力向上や最適化配置はもちろん、きめ細かな支援で、皆さんから「日本一」と信頼される経営支援体制を構築します。

とくに平成23年度からは、市内の小規模・中小企業に対する相談・支援事業として「2万社ステップアップ・サポート」を新たに展開。さらに、「きょうと元気な地域づくり応援ファンド」、「きょうと農商工連携応援ファンド」、「京都企業設備投資等支援事業」などの支援施策の活用や、他の産業支援機関とのネットワーク強化により、皆さんの「がんばる経営」への支援にあたります。

また支部単位で「地域活性化会議」を設置し、地域資源の活用促進や、地域の課題やニーズに対応した支援を行います。

## 事業内容

- 経営力向上支援
  - 経営革新支援
  - 事業承継支援
- 創業支援
  - 創業・第二創業支援
- 下支え支援
  - セーフティネット、金融支援
  - 経営安定特別相談事業
  - 京都府中小企業再生支援協議会
- 地域活性化支援
  - 支部別地域活性化会議
  - 地域活性化事業支援
- 経営支援体制の整備
  - 経営改善普及事業の新展開
  - 経営支援員体制の再構築

## 重点事業プラン

### A2-1. がんばる経営応援プラン

- 経営力の向上支援…経営支援員のきめ細かな支援、公的支援施策の効果的な活用によって、成長・発展を目指す中小企業を支援(支援件数:120件)
- 創業支援…意欲ある創業者を支援(支援件数:300件)
- 下支え支援…金融支援等による経営改善、経営安定、事業再生への支援

### A2-2. 地域価値創造応援プラン

- 4支部単位の「地域活性化会議」による地域資源の再発見・活用に係る取り組みの促進
- 地域の事業者団体による地域活性化事業への支援

### A2-3. 経営支援体制強化プラン

- 小規模・中小企業から『日本一』信頼される経営支援体制を構築する
- 支援員の能力向上と、経営支援の「量から成果」への転換
- 経営支援員の最適化配置による支援体制の拡充・強化

中小企業振興・地域経済の活性化

## 【休刊のお知らせ】

経営支援員がお届けしてまいりました当センター機関誌『はんえい』は、今号をもちまして休刊することとなりました。永年のご愛読と誌面へのご協力ありがとうございました。

# 小規模事業者のための 経営改善資金融資制度

## マル経 資金融資

無担保・無保証人・低金利 (手数料無料)

## 商工会議所の推薦による 国(日本政策金融公庫)の融資制度です

### 融資の条件

- 返済は元金均等月賦返済(残債方式で、利息は毎月減額)
  - 信用保証協会による保証も不要
  - 融資限度額の範囲内で、マル経の借替の利用もOK
  - 返済期間は、設備：10年以内 運転：7年以内  
(運転資金1年以内、設備資金2年以内の据置も可)
- ※ご相談の内容によっては、ご希望に沿えない場合があります。



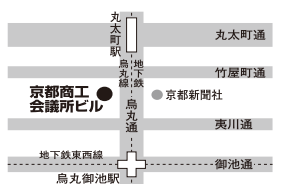
### 利用の対象

- 従業員数が20人以下(商業・サービス業では5人以下)の事業者の方  
(ただし、法人役員、家族従業員、パートは除く)
- 従前から商工会議所の経営指導を受けている方
- 所得税・法人税・事業税・住民税を完納している方
- 日本政策金融公庫の融資対象業種の方
- 京都市内で、最近1年以上営業している方

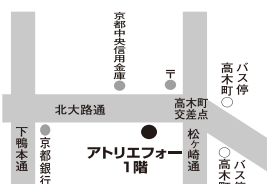
融資限度額  
**1,500万円**  
(設備・運転を併せた限度額)

金利  
**1.95%**  
(平成23年3月1日現在)

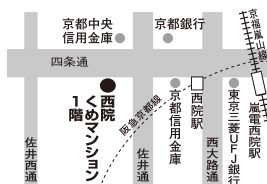
事業所のある行政区の各支部へご相談ください (下記地図参照)



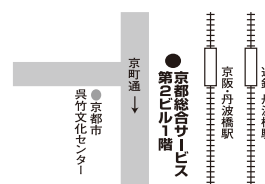
**本部・洛央支部** (上京区・中京区・下京区・東山区・山科区)  
TEL 075-212-6467・6460  
FAX 075-256-9743  
中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル6階・1階



**洛北支部** (北区・左京区)  
TEL 075-701-0349  
FAX 075-791-8505  
京都市左京区下鴨高木町6 アトリエフォー1階



**洛西支部** (右京区・西京区)  
TEL 075-314-8771  
FAX 075-314-8911  
右京区西院巽町13 西院くめマンション1階



**洛南支部** (伏見区・南区)  
TEL 075-611-7085  
FAX 075-603-2601  
伏見区京町北7丁目11 京都総合サービス第2ビル1階